

新和路を走る！

天草ロードレース大会



▲家族みんなで仲良くゴール！

「第21回天草ロードレース大会」が1月31日、市新和支所周辺を発着とする1.5・3・5・10kmのコースで開かれ、市内外427人の参加者が新和路を走りました。肥後銀行女子駅伝部などからの招待選手をはじめ、県内外の強豪校から有力選手が出場し、白熱したレースを展開。一方、1.5kmのファミリーの部では、家族が手をつなぐなどしていっしょにゴールする姿が見られました。

芸術文化や伝統芸能を継承しよう

あまくさ子ども芸術祭



▲牛深中学校生徒と牛深高校郷土芸能部による“牛深ハイヤ踊り”

1月31日、「第2回あまくさ子ども芸術祭」が牛深総合センターで開かれ、約400人が来場しました。市芸術文化協会が、芸術文化や伝統芸能を継承している子どもたちによる芸術祭として、昨年から開催しているもの。市内の小・中・高校生11団体・182人が出演し、“牛深ハイヤ踊り”“魚貫草刈り唄”をはじめ、太鼓や吹奏楽の演奏などを披露。来場者からは大きな拍手が送られていました。

53年ぶりの大雪に見舞われる

農業用ビニールハウス損壊、水道管破裂の被害も

1月24日・25日、市内全域が大雪に見舞われました。本渡で観測史上最低の氷点下7度、牛深で12cmの積雪を観測。昭和38年の“三八豪雪”で、牛深では29cmの積雪があったとの記録が残っており、それ以来となる53年ぶりの大雪です。25・26日には市内すべての小・中学校が休校となったほか、道路の凍結により各所で交通が遮断。農業用ビニールハウスの損壊や水道管の破裂による断水などの被害が出ました。



▲天草空港(24日)



▲御所浦物産館「しおさい館」付近(24日)



▲市役所前を通る国道324号(25日)

避難所開設・運営を学ぶ

災害ボランティア養成講座



▲避難スペースを作る参加者

1月30日、「災害ボランティア養成講座」が御所浦北体育館一帯で開かれ、御所浦地域の自主防災組織や民生委員など50人が参加しました。市社会福祉協議会御所浦支所が毎年開催しているもの。今回は避難所開設・運営をテーマに実施。プライベートに配慮した避難スペースの作成では、参加者が同支所職員の指導を受けながら、段ボールを使った間仕切り作業に熱心に取り組んでいました。

“高浜ぶどう”の栽培拡大に向けて！

高浜地区振興会・ぶどう班による挿し木作業



▲苗木を植えるようす

天草町の高浜地区振興会の“ぶどう班”12人が2月11日、“高浜ぶどう”の挿し木(苗木植え)作業を同地区コミュニティセンターで行いました。地元に残っていた木をもとにして、平成21年から復活の取り組みをスタート。昨年は収穫したぶどうで念願のワインを試作しました。同地区振興会では、今回植えた苗を11月ごろまで育てて、地元の希望者に配布する予定。詳細は同地区コミュニティセンター☎1125へ。

子どもとのふれあいに笑顔

宮田地区高齢者のつどい



▲園児とふれあう高齢者たち

「宮田地区高齢者のつどい」が2月4日、倉岳町の同地区コミュニティセンターで開かれ70人が参加しました。宮田地区振興会が、高齢者の皆さんにたくさんの人とふれあってもらおうと定期的開催しているもの。今回は、倉岳保育園と苓陽幼稚園の園児がダンスや踊りを披露。高齢者たちは、園児たちのかわいらしい踊りを堪能し、笑顔で握手を交わすなどしてふれあっていました。

女子が準優勝！男子は9位

熊日駅伝



▲準優勝でフィニッシュするアンカーの松原(信愛女学院高校2年)

「第33回熊日郡市対抗女子駅伝」が1月24日、「第42回郡市対抗熊日駅伝」(男子)が2月14日に行われ、市チームは女子が準優勝、男子は9位でした。女子は、びぶれす熊日会館前(熊本市)を発着とする7区間28.4km、男子は天草市から熊本市までの14区間105.4kmのコースで行われ、いずれも19チームが出場。女子チームの宮田知政監督は、「選手が粘ってくれたおかげ。来年はぜひ、優勝を目指したい」と話していました。